

プレスリリース

iCONM/CHANGE 学術セミナーのお知らせ

イノベーションを支える ELSI/RRI と規制科学

報道関係者 各位

下記のとおり、iCONM/CHANGE 学術セミナーを開催いたします。講師は杉野智啓先生（株式会社 TOKYO analytica COO / 東京工業大学 環境・社会理工学院 博士後期課程在籍）および仙石慎太郎先生（iCONM 主幹研究員 / 東京工業大学 環境・社会理工学院 教授）です。「イノベーションを支える ELSI/RRI と規制科学」と題し、倫理的・法的・社会的課題(ELSI)および責任ある研究・イノベーション(RRI)の 概念、これらの構成と検討枠組みについて基礎から解説いただきます。また、昨今注目されるプログラム医療機器 (SaMD)の事例をもとに、社会実装にむけて解決すべき課題について紹介します。

SF 映画ではおなじみのタイムスリップ。時空の壁を超えて過去や未来に移動してしまい、科学技術や生活様式のギャップに主人公が翻弄される様は、高いエンタメ性があるため視聴者はおおいに楽しむことができます。村上もとか氏・原作の「JIN-仁」では、脳外科医が江戸時代にタイムスリップし、脳内出血を起こした町人を開頭手術で助けようとしています。頭を切り開き、頭蓋骨をノミで割る行為は、江戸時代の人々にとって狂人として映りません。しかし、現代では外科手術が当たり前のように行われ、その行為に異議を唱える方はほとんどいないでしょう。このように、斬新な科学技術や画期的な発見・発明、あるいは、これまで当たり前だった物事の急激な変化に対して、往々にして人々は驚き、慎重となり忌避しがちとなります。それがゆえに、研究開発と並行して、倫理的・法的・社会的課題 (ELSI: Ethical, Legal and Societal Issues)や、責任ある研究とイノベーション (RRI: Responsible Research and Innovation) について様々なステークホルダーの意見を採り入れ、その社会実装後の製品やサービスを適切に運用するための制度と規制の在り方について予め議論する必要性が近年叫ばれています。

iCONM やプロジェクト CHANGE で進む研究内容に関しても、未来を創造し、現代との倫理観や制度の違いなどを探求するとともに、セミナーなどによる市民のみなさまへの説明や、市民交流会などを介したヒアリングの機会を積極的に設けていきたいと思っております。人々の暮らしをよりよいものにするための科学技術が、逆に人々の不安とならぬよう ELSI/RRI の観点からもしっかりと精査しながらプロジェクトを進めていきますので、引き続きのご支援のほどよろしくお願いいたします。

記

日時：2024年8月26日 13時45分開場 14時00分開演

場所：ZOOMによるオンライン開催

演題：イノベーションを支える ELSI/RRI と規制科学

演者：

・杉野智啓 先生（株式会社 TOKYO analytica COO / 東京工業大学 環境・社会理工学院 博士後期課程在籍）

・仙石慎太郎 先生（iCONM 主幹研究員 / 東京工業大学 環境・社会理工学院 教授）

事前申込み：

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_WaZdVQtoSt62_1WOQWPwaA#/registration

参加費：無料

講演要旨：

画期的な発見や発明、斬新な考え方や変化に対して、往々にして人々は慎重となり、忌避しがちです。また、これらが適切に研究開発されないと、産業や社会に受容されないうえ、脅威となることもあります。そのため、研究開発と並行して、倫理的・法的・社会的課題（ethical, legal and societal issues, ELSI）や、責任ある研究・イノベーション（responsible research and innovation, RRI）について、様々なステークホルダーの意見を取り入れ、製品・サービスとこれらを適切に運用するための制度・規制のあり方を議論する必要があります。

本セミナーでは、ELSI/RRI の概念、これらの構成と検討枠組みについて解説します。また、昨今注目されるデジタルヘルス（SaMD）の製品・サービス事例をもとに、社会実装にむけて解決すべき課題について議論します。

講師略歴：

杉野智啓

2010年 防衛医科大学校 医学部医学科卒業、医師。2023年 東京工業大学 環境・社会理工学院 技術経営専門職学位課程(MOT)修了、現在は同院 博士後期課程在学中。自衛隊医官として対テロ兵器衛生部隊に従事、米海兵隊でメリーランド州対テロ救助部隊基礎課程(CBOC)修了。2019年 医療コンサルティング会社 TOKYO analytica 創業、COO。医療 AI および医療機器開発を専門分野とする。



仙石慎太郎

2001 年東京大学大学院理学系研究科博士後期課程修了、博士（理学）。マッキンゼー・アンド・カンパニー、ファストトラックイニシアティブを経て、2008 年京都大学産官学連携センター寄附研究部門准教授・物質－細胞統合システム拠点（WPI-iCeMS）特定拠点准教授・同イノベーションマネジメントグループ主任研究者。2014 年東京工業大学大学院イノベーションマネジメント研究科准教授、2021 年 4 月より現職。



ナノ医療イノベーションセンターについて

ナノ医療イノベーションセンター（iCONM）は、キングスカイフロントにおけるライフサイエンス分野の拠点形成の核となる先導的な施設として、川崎市の依頼により、公益財団法人川崎市産業振興財団が、事業者兼提案者として国の施策を活用し、平成 27 年 4 月より運営を開始しました。有機合成・微細加工から前臨床試験までの研究開発を一気通貫で行うことが可能な最先端の設備と実験機器を備え、産学官・医工連携によるオープンイノベーションを推進することを目的に設計された、世界でも類を見ない非常にユニークな研究施設です。

<https://iconm.kawasaki-net.ne.jp/>

共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）について

大学等が中心となって 未来のあるべき社会像（拠点ビジョン）を策定し、その実現に向けた研究開発を推進するとともに、プロジェクト終了後も、持続的に成果を創出する自立した産学官共創拠点の形成を目指す文部科学省/JST の産学連携プログラム。前身の拠点形成型プログラムである、センター・オブ・イノベーション（COI）プログラムがコンセプトとして掲げる「ビジョン主導・バックキャスト型研究開発」を基軸とした制度設計を行ったことから、本プログラムの愛称を「COI-NEXT」ともいいます。知と人材の集積拠点である大学等のイノベーション創造への役割が増している中、これまでの改革により、大学等のガバナンスとイノベーション創出力の強化が図られてきました。今後、「ウィズ/ポストコロナ」の社会像を世界中が模索する中、我が国が、現在そして将来直面する課題を解決し、世界に伍して競争を行うためには、将来の不確実性や知識集約型社会に対応したイノベーション・エコシステムを「組織」対「組織」の産学官の共創（産学官共創）により構築することが必要となります。

<https://www.jst.go.jp/pf/platform/outline.html>

プロジェクト CHANGE について

2022 年 10 月に COI-NEXT 共創分野・本格型に採択された「レジリエント健康長寿社会の実現を先導するグローバルエコシステム形成拠点」をプロジェクト CHANGE と呼びます。「医工看共創が先導するレジリエント健康長寿社会の実現」をビジョンに掲げ、看護に携わる方々の支援と生活者の身体機能の維持を両輪として少子高齢社会の課題解決に繋がる道具やシステムの研究開発を行っています。川崎市産業振興財団が代表機関となり、ナノ医療イノベーションセンターを中核に、大学・企業に加え川崎市看護協会や国立医薬品食品衛生研究所、川崎市健康安全研究所など 36 機関が共創するプロジェクトです。

<https://change.kawasaki-net.ne.jp/>

2024年8月7日